

ごあいさつ



代表取締役会長

瓜生 道明

代表取締役 社長執行役員

池辺和弘

株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年度の業績につきましては、グループ一体となって費用削減に取り組むなか、川内原子力発電所が安定稼働したことなどにより、3期連続の黒字となりました。

当社は、これまで、「九州電力グループ中期経営方針」に基づき、原子力発電所の早期再稼働、収支改善対策、小売全面自由化を勝ち抜くための取組みなどに、最大限の努力を傾注してまいりました。

また、原子力発電につきましては、安全性向上のための自主的かつ継続的な取組みを経営の最重要課題と位置づけ、グループ一体となって取り組んでおります。

2018年度は、これらに加え、グループ全体のイノベーションを推進し、新しい事業やサービスを生み出す「未来の事業」に向けた取組みを更に加速し、新たな収益源の獲得を目指してまいります。

当社といたしましては、このような取組みを通じ、グループ全体の持続的な成長を目指すとともに、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2018年7月